

毎週水・木・金曜日配布

購読料無料

ポスティング

ちいき新聞

2021年3月12日号

柏北版

発行部数35,165部

VOL.801 全49版

総発行部数2,054,794部

今週の見どころ

- ☆読者投稿 ちいカフェ
- ☆お楽しみ読者プレゼント
- ☆NEWグルメスポット
- ☆柏TOPICS コイルテラス

ちいき新聞へのお問い合わせは ☎0120-152-337 ※音声ガイドに従ってご利用をお話ください 受付/平日10:00~18:00 ※土日祝日は休み ✉kashiwa-kita@chiikinews.co.jp



回収箱は受付裏の情報コーナーに設置



ベルマークは余分な部分を残さず線に合わせて切り取る



使用済み切手は消印ごと切り取る



使い捨てコンタクトレンズの空ケースはアルミシールをしっかりと剥す

千葉県体験活動ボランティア活動支援センター

場所 柏市柏の葉4-3-1 さわやかちば県民プラザ内

問い合わせ ☎04(7135)2200 (火・木・土曜 午前9時~午後5時) 回収ボックスは、県民プラザ開館時利用可(月曜休館)

ポートフォリオはコチラ



使用後の歯ブラシなど5種類回収

回収しているのは、使用済み歯ブラシと切手、書き損じはがき、ベルマーク(使用済みインクカートリッジを含む)、使い捨てコンタクトレンズの空ケースの5種類。どれも捨てれば社会に集めて送れば社会に役立つ貴重な資源となる。

「収集ボランティアは、子どもから高齢者まで誰でもできます。ちょっとした手間が社会貢献につながるのが

魅力です」と、同センターの小菅嘉子さん。使用済み切手と書き損じはがきは、福祉団体や千葉ユニセフ協会などに寄付し、活動を支援。ベルマークは寄贈先を指定してベルマーク財団に送っており、次回は福島県の被災地支援に利用されるという。歯ブラシと空ケースは、回収プロジェクトを行っている団体へ寄贈し、新たな製品に生まれ変わる。歯ブラシは、柄の部分が再生されるので、軽く洗って乾かせば、掃除に使ったものでも大丈夫。

夫。ただし、使い捨て用や電動は回収できないので注意しよう。また、空ケースは、リサイクルで得た収益が日本アイバンク協会に全額寄付され、角膜障害者の視力回復などに役立てられている。被災地などの支援に加え、環境問題にも貢献できる「石二鳥の取り組みだ。

ボランティア活動などを記録しよう

同センターでは、体験活動やボランティア活動をした日時や場

所、内容を書き込める「ちば活動ポートフォリオ」を昨年作成し、配布している。きっかけは、同センター主催の子ども対象の活動をボランティアでサポートしていた高校生が、活動の証明が欲しいと相談に来たことだったという。小菅さんは、「自分で記録を残せるものがあればと思いました。感想も書けるので、活動した時の気持ちを振り返ったり、入試や就職の際に活用したりしてもらえれば」と話す。(琉)

おうちで集めて社会貢献

収集ボランティア

さわやかちば県民プラザ内にある「千葉県体験活動ボランティア活動支援センター」では、ベルマークなどの回収ボックスを設置。福祉団体や被災地の支援、リサイクルなどに役立てている。



ポートフォリオはホームページからダウンロードもできる